

令和8年度 立川市西砂学習館運営協議会会議録（第2回）（案）

日 時：令和8年5月13日（水）午後6時～午後8時10分

出 席：大槌（会長）、加藤（副会長）、内金崎、坂東、長谷川、岩元、能村、森、広瀬
（敬称略）

欠 席：なし

傍 聴：1名

事務局：高木（西砂学習館係長）、三友（西砂学習館職員）、水崎（西砂学習館職員）

1 開会挨拶（会長）

（会 長）：本日は、天気予報どおり午後から雨が降ってきた。府中で会議があったため、西武立川駅に自転車を駐輪していたが、自転車のルールが厳しくなり傘さし運転ができないことから、押し歩いて学習館まで来た。

5月の会議では、サマーイベントを含めた地域活性化講座の具体的な内容を決めていく。委員の皆さんがいろいろ調べて情報を挙げてくれたことに感謝を申し上げる。どのような講座をすれば子どもたちにとって楽しい夏休みになるか、学習館に来て良かったと思ってもらえるか等を議論したい。

2 協議、報告及び連絡事項

（1）令和8年度 第1回（4/28）西砂学習館運営協議会会議録（案）について

（事務局）：修正点等がある場合には、5月31日（日）までに事務局に連絡をお願いする。
（資料1）

（2）地域活性化講座について

ア．認知症予防講座（気軽に学べる 認知症予防講座）について

（事務局）：資料2、3を基に説明。

会場が視聴覚室のため、定員20人となっているが申込多数の場合は、40人まで受け付ける。資料3のチラシ案について、講師肩書の変更（北部西かみすな地域包括支援センター→認知症地域支援推進員）と講師の追加（藺田なゆさん（ピアノ、介護福祉士））をする。

（会 長）：座学と体操の時間配分はどうなったのか。

（委員A）：5月18日（月）に打合せをし、決定する。基本的な内容は、昨年度と同様の予定だ。お時間があればご参加ください。

（会 長）：講座当日（6月4日（木））にお手伝いいただける委員はおられるか。

会長、副会長、委員A、委員C、傍聴1

イ．西砂サマーイベントについて

（事務局）：資料4、5、6、7、8を基に説明。

資料4 講座企画提案 NO.1 「化石の取り出し体験（地層と化石）」

→資料5参照。材料費は講師謝礼に上乗せして支払う。

講座企画提案 NO. 2 「ねんどでデザートをつくろう」→資料6 参照。

講座企画提案 NO. 3 「定規で直線を書き、美しい曲線を作ろう」

→詳細は今後打合せを行い決定する。

講座企画提案 NO. 4 「講師A」

→詳細は今後打合せを行い決定する。

講座企画提案 NO. 5 「グループで行う自由な表現」→資料7 参照。

(委員B):「資料4」、講座企画提案 NO. 5 「グループで行う自由な表現」は、机に座って「教えてもらう」という学習方法ではなく、探求型・アクティブラーニングの学習スタイル。ゲーム等をしながら、そこから「何か」に気付いていく。狙いを学び取れたか、得られたかを測ることはできないが、少しでも自分を見つめたり、自分から動くことができたりすればいいと思う。講師Bからは内諾を得ている。昨年は全学年対象で実施したが、今年は4年生以上を対象としたい。低学年児童と高学年児童では学びに差があるため、せつかくの体験が上級生に感じづらくなる。それは避けたい。今年は、定員18人、視聴覚室での実施を希望する。

(委員C):「資料4」、講座企画提案 NO. 6 から NO. 9 まで説明する。

講座企画提案 NO. 6 は、川崎重工業の講師Cから講師の内諾を得ている。講座内容は希望・テーマを講師にお伝えしてから決定することになるため、打合せはなるべく早めに行いたい。また、講座日時は決定次第、講師にお伝えする。

講座企画提案 NO. 7 は、講座準備に時間が取れないため、今回は見合わせたいとのことである。

講座企画提案 NO. 8 は、講師Dと講師E（それぞれお囃子会）に依頼している。講師Eは、青梅のまつり等で忙しかったようなので、可能であればもう少し返事を待ちたい。講師Dは、今日（5月13日）自治会館で練習会があるそう。

出るのであれば子どもたちが参加するという話があったので、都合等を調整して連絡をくれることになっている。

講座企画提案 NO. 9 は、真夏であることから、畑での実習は難しいし、座学も今回は実現が難しい。ただ、来年以降につなげられるかたちで話を進めていきたいと考えている。

(委員D):「資料4」、講座企画提案 NO. 10 について説明する。講座は、個人的にヘラクレスオオカブト等のめずらしい昆虫を育てている若葉児童館の職員が担当する。講座内容は、まず育て方のポイントなどの講義をし、後半は自由に昆虫に触る。昨年度、若葉児童館で実施した時は、乳幼児連れの親御さん、小学生も順番に触って喜んでた。今年度は若葉児童館、若葉図書館、富士見児童館でも同講座を実施するほど人気の講座になっている。

(委員E):「資料4」、講座企画提案 NO. 11 について説明する。昨年度はボッチャ、一昨年度はモルックを行った。今年はどちらでも実施可能とのことである。

【実施を見送る企画】

「資料4」、講座企画提案 NO. 7 及び NO. 9。但し、農業関係者とは来年以降につなげたいため関係を継続したい。

【実施する企画】

「資料4」、講座企画提案 NO. 1、NO. 2、NO. 3、NO. 4、NO. 5、NO. 6、NO. 10

【検討中の企画】

「資料4」、講座企画提案 NO. 8 及び NO. 11。但し、NO. 8 が実施できない場合に、NO. 11 を実施する。

(委員F)：1時間をお囃子にして、もう1時間をボッチャかモルックにすることは可能か。

(委員E)：ボッチャ・モルックは、1時間では20人が楽しむことはできないだろう。

(委員A)：お囃子は、講師Dか講師E、いずれか一方に依頼するのか。

(委員C)：流派が違うため、そう考えている。今年度実施しない片方には、次年度依頼することで合意を得ている。

【対象を設ける企画】

「資料4」、講座企画提案 NO. 5は、4年生以上対象とし、その他の企画は、全学年（1～6年生）対象とする。

(委員F)：対象が4年生以上の講座を実施している時に、同時に別部屋で1～3年生対象の講座は実施できるか。

(会 長)：終日過ごすことを考えると、午後（または午前）の人数が増えることになる。

(事務局)：昼食と学習支援を行う第1実習室について、その定員内で収まれば同時開催は可能と考えている。

(委員E)：昨年は、全体を通して低学年の参加が多く、6年生の参加は1人だったと記憶している。4年生以上を対象にすると集客が不安だ。

(委員B)：今年は、母親が魅力的に感じる表現をしようと話している。

(会 長)：低学年は親子参加が可能か。

(委員B)：難しい。

(事務局)：西砂小で「くるプレ」が始まるため、その影響が読めない。

(委員F)：サマーイベントのタイムスケジュールを教えてほしい。

(事務局)：昨年同様としたい。

午前10時～正午（午前の講座）→12時～12時30分（昼食）→12時30分～午後1時（ミニ映画会）→午後1時～2時（学習支援）→午後2時～4時（午後の講座）。

(委員F)：ボランティアの募集はどうするのか。

(会 長)：地域に働きかけるのか、ボランティアの募集方法はどのようにするのか。

(事務局)：ボランティア募集は現時点では考えていない。東京学芸大学の実習生2人が来るだろうし、中央大学にも委員Hを通して依頼したいと考えている。

(会 長)：承知した。実際に手伝いが足りない状況になれば地域に依頼したい。学生が来てくれば学習支援を頼める。高校生の関わりも期待したい。高校といえば見当を付けられるところはあるか。

(事務局)：西砂児童館は、近隣高校の書道部とのつながりがあると聞いている。

(委員D)：書道部としかつながってはいないが、とっかかりにはなるかもしれない。

- (会 長)：錦では、近隣の学校とつながっていたのか。
- (事務局)：近隣高校と事業で連携してきた。西砂学習館とも連携の可能性はある。
- (会 長)：交通費等が出せないが大丈夫か。
- (事務局)：難しいかもしれない。
- (委員F)：中学生でもいいか。近隣中学校の校長はとても積極的で、声をかければ喜んでやってくれると期待している。
- (会 長)：ぜひ中学生にもお願いしたい。HPにアップされている校長のコラムをすべて拝読した。地域に溶け込みたいという気持ちがありありとわかって感動した。それでは、委員と事務局に＋αとして大学生や中学生で補い運営するという方向性を確認した。
- (事務局)：最終的な講座日時は、各委員と事務局、講師で相談して決定する。

(3)「第46回 西砂学習館まつり」について

- (事務局)：第46回西砂学習館まつりのパンフレット参照。
- 西砂学習館まつりのチラシとパンフレット、発表会プログラムを作成した。期間中はぜひ足を運んでください。青少健の掲示板に、チラシを貼らせていただきありがとうございました。
- (会 長)：広報は大切だ。西武立川駅の掲示板にも掲示してあった。
- (委員B)：砂川学習館にもパンフレットが置いてあった。

(4) 第8期 西砂学習館運営協議会報告書について

- (事務局)：資料9を基に説明。
- 「2年間の活動に対する感想・意見等」に記載した委員の皆さんからのご意見について、報告書であることから「ですます調」は「である調」に修正した。修正点等がある場合には、5月31日（日）までに事務局に連絡をお願いします。

(5) 各委員からの近況報告及び連絡事項（退任あいさつ）

- (委員)：5月9日（土）午後2時から開催された青少健総会が無事に終了した。本年度も上野委員長体制で運営していくのでよろしくお願いします。
- 同日に自治連総会も開催され、両方に参加された方が多かったようだ。
- 5月10日（日）麦の網掛けを行った。徐々に成長しつつあり、麦刈りが楽しみだ。
- 松明まつりは、8月15日（土）に松中小で実施する。（西砂小が工事のため。）
- 松明まつり実行委員会は、1回目：7月17日（金）19時から、2回目：8月7日（金）19時から開催予定。変更があったら連絡する。
- (委員)：7月18日（土）夕涼み会。青少健にご協力いただき、学童保育所保護者会と共催で行う。各ブースは16時にオープンし、夜に花火をして終了となる。
- (委員)：まちなっと5月号に「支えあいサロン一覧」を掲載したところ、大きな反響がある。中でも健康麻雀が人気で各団体に受入の調整をお願いしているが、新加入はなかなか難しい。新しく団体を立ち上げることも検討しているが、役員の担い手不足で難しい状況だ。体験会等を通して機運を高めたい。
- 昨年、西砂学習館で「まちフェスミニ」という、地域で様々な活動をする団体をお

呼びして行った取り組みがある。団体とのつながりができたので、まちなつと7月号では、7・8月の夏休み期間中、団体の活動情報をまとめたものを掲載する予定だ。見ていただいて興味があるものがあれば市民に周知してください。

(委員) : 市民推進委員会の今年度の講座が固まってきた。約40講座を実施する予定だ。市民推進委員の人数は減少しているにも関わらず、講座数は増えている状況だ。6月22日(月)映画上映とお話し「ドーバーばばあ2〜つなぐ〜」の講演会は、昨日(5月12日)から受付が始まった。150人定員のところ、既に93人の申し込みがある。ご興味があれば是非参加してください。

9月には「地図でたどる立川の移り変わり」、12月末には「宮沢賢治生誕130年」の講演会を実施する予定だ。委員Cのパソコン講座もよろしくお願いします。

(委員) : 6月発行のきらり・たちかわは、2月にオープンした砂川学習館の特集号だ。次の秋号では、RISURUホールの大ホールで年に1回定期演奏会を行っている3団体(立川市吹奏楽団、立川管弦楽団、立川マンドリンクラブ)を特集で採りあげることが本日(5月13日)の編集会議で決定した。5月末に「TACHIKAWA いったい音楽まつり」があるが、それとは別で立川には音楽活動、活発に長期間している団体があることを紹介したい。

(委員) : 西砂パソコン倶楽部は、4月21日(火)にWord講座を行った。その中で、パワーポイントでも使える3Dモデルという画像が立体的に動くものを紹介したら非常に喜ばれ、申込をしていない方も来られる等、にぎやかにできた。

5月26・27・29日は柴崎学習館で、6月16・17・19日には女性総合センターで、それぞれWord講座を実施予定(男女平等推進課主催)。

(委員) : 「一番町傾聴クラブ」は、約4年前に委員A、学習館、多くの方に助けられて発足した。その後もスタッフが委員Aにお世話になるなど、育てていただいている。いい関係だと感謝している。

本日(5月13日)砂川学習館を訪れたら、館長が館内を説明してくれた。素晴らしい施設だった。1階のスペースでは8割程度高校生が学習していて、そうすると、市民の交流のために話をするスペース・居場所としては機能しない。他の学習館でも同様だ。学習スペースのほかに市民のスペースがあることが理想だと感じた。

「ボイトレクラブ」は砂川学習館で発足した。講堂を使いたいのだが抽選の倍率が高く会場が取りづらい。休館中は上砂会館で活動しており砂川学習館に戻ろうと考えていたが、結局は部屋を確保しやすい上砂会館で行うことにした。

(事務局) : 砂川学習館は学生の利用が増えているため、5月から第2教室が空いていれば学習室として開放するようだ。

(会長) : 中・高生の学習スペースを確保したら、大人の居場所がないという問題が出てきた。

(委員) : 砂川学習館は、学習館の中で唯一飲食が可能だ。それは何故か。

(事務局) : コミュニティースペースは市民協働課が管理している。

(委員) : 用途でスペースを限るというのは必要なことではないか。どの場所でも飲食ができるわけではない。

(事務局) : 砂川学習館近辺は、学習等供用施設がないため、現在の運用形態にせざるを得なかったようだ。

(委員) : 西砂川地区文化会の総会を5月23日(土)午後3時から西砂会館で開催する。令和8年度の活動がスムーズに実施できるように、まずは総会を成功させたい。立川第七中学校の校長から「まちかどアートを実施したい」という相談があった。西武立川駅から西砂小に向かったところにブリキの高い塀に落書きのような絵が描かれている「車関係の会社」がある。その塀のオーナーに相談したら、了承してくれそうだった。

また西武立川駅ロータリーの宣伝スペース(看板)のオーナーにもアプローチしたところ、2〜3か月であれば使用可能(商売なので長期間は難しい)とのことだった。それらの報告をしたら、校長は早速「西砂地区まちかどアートプロジェクト(仮)」の企画書を作られた。一番町が外れている気がするため、適当と思われるプロジェクト名があればご提案ください。

(委員) : 体育会は「【西砂川】地区体育会」としている。

(委員) : 文化会も「【西砂川】地区文化会」なので、提案してみる。

立川市民科も、今までは1日農業体験に行って、農業新聞を作って成果発表をするというものだったが、今後は年間を通して、準備から観察、話を聞くなどの農業体験をするプログラムを既に作られていた。児童が構想し、発信する授業・教科にしたいという夢があふれる話を伺っている。

さらに、まだ実現してはいないが、校門はいつも開けているのでいつでも来てください、花壇も市民に作ってもらったり管理してもらったり、いつでも自由に出入りして子どもの様子を見に来てくださいと言ってくれている。あとは、西砂学習館まつりの大成功のためにがんばっている。

(会長) : 学習館まつりの資料は鋭意努力して作成している。

(事務局) : まつりの準備と西砂寿教室、夏に向けて開催する講座の準備にかかっている。

(事務局) : 西砂学習館まつりコンサート(津軽三味線生音ライブ!)の担当になり、出演者と連絡を取る等、準備を進めている。また、同時に多文化共生プロジェクトで行うヒタイト講座の準備も進めている。11月28日(土)午後に行う「みんなのコンサート」では、帝劇ミュージカルにも出演経験がある方とピアノ演奏の方に来ていただけることになった。

(事務局) : まつりに向けて、まつりチラシ、西一元氣通信を自治会長宅に届けた。

西部連絡所が廃止されて、徐々に西部連絡所への訪問者は減ってきたが、ここにきて固定資産税の納税通知書が届いたことから、支払いに来られる方が増えている。今後、シルバーパスの更新などもあり、やはり一年経過しないと周知は徹底されないものと思う。引き続き、来館者には丁寧に対応していきたい。

【退任あいさつ】

(委員A) : 4年前から地運協委員になり、みなさまにはお世話になった。最初は、面識がない方ばかりだったが、この会議の委員のみなさまは地域のキーパーソンだと思う。この会議で生まれたネットワークは、業務上とてもありがたいものだった。後任の職員は、地域福祉コーディネーターとしては1年目だが、学ぶ姿勢がある人なのでよろしくお願いします。

(委員E) : 委員Aと一緒に、2期4年お世話になった。市民推進委員は継続し、きらり・

たちかわの編集長を務める。地元に住んでいるし、この地運協で多くの方と面識を持つことができ、勉強になった。今後も地域でも活動するので、引き続きよろしくお願いします。

(委員F)：新委員は決まっているのか。

(事務局)：利用者団体枠が2人欠員になっている。1人は決定しているが、もう1人は今後お会いして依頼する。

(会長)：6月から、新体制でまたがんばっていききたい。

3 その他

○次回の地域学習館運営協議会の日程について（第9期：第1回）

※次回は、令和8年6月12日（金）

<配布資料>

- ・資料1 令和8年度 立川市西砂学習館運営協議会会議録（第1回）（案）
- ・資料2 「気軽に学べる 認知症予防講座」実施内容（案）
- ・資料3 チラシ「気軽に学べる 認知症予防講座」（案）
- ・資料4 令和8年度 西砂サマーイベント 講座企画提案内容について
- ・資料5 講座企画提案 講師F
- ・資料6 講座企画提案 西砂図書館
- ・資料7 講座企画提案 講師B
- ・資料8 令和8年度 西砂サマーイベント 講座日程調整表
- ・資料9 第8期 西砂学習館運営協議会報告書（最終案）

<資料番号なし>

学校だより （松中小学校・立川第七中学校）

西砂学習館まつり パンフレット